

## 大地震発生時の行動、「無事ですプレート」の重要性

昨年は、6月に大阪北部地震（震度6弱、M6.1）、9月に北海道胆振東部地震（震度7、M6.7）があって、西日本豪雨や台風被害も含めて「災」の年でした。また、今年早々にも熊本和水地震（震度6弱、M5.1、一昨年の熊本地震とは連動なし）もありました。

首都直下地震は「30年の間に震度7クラスの地震が7割の確率で起こる」とされています。これは、阪神M7.3、東日本M9.0、熊本M7.3級に抜擢し、大阪・北海道より大きな地震です。

昨年春、下記の「地震発生時の行動マニュアル」と「無事ですプレート」を全戸配布しました。しかし、その後の防災訓練を繰り返す中で「プレート掲示率の低下」が著しく、忘れがちになっているようなので、再度詳しく説明したいと思います。

### (1)地震発生時の自宅での行動

（地震発生時の行動マニュアルより抜粋）

## 地震発生！ その時どうする？

震度6以上の地震発生！



### 1. 地震だ！ まず、自分の身を守る（地震発生から0～2分）



- 大揺れが収まるまで、丈夫な机の下にもぐる（又は衣類、座布団等で頭を守る）
  - 倒れそうな棚・家具・ガラスからすぐ離れる
- ※身の守り方は、自宅の状況・発生時の状況によって各自が判断

### 2. 大揺れがおさまった（発生から2～5分）



- 火事が発生したら初期消火に努める、消えなければ近所に助けを求める
- 家の中の安全確認、ガラス飛散をさけてスリッパ等を履く
- 玄関や部屋のドアを開け出口を確保する
- 電気のブレーカーを落とす（復電火災防止）
- ガスの元栓を閉める（復旧時のガス漏れ防止）

★揺れがおさまるまでは、とにかくわが身を守る！！

★日頃から家具を固定し、配置を考えて「下敷きにならないよう」工夫すること。

★学校・職場・外出不在家族の「安否確認・連絡方法・行動基準」を家族内で話し合っておく。

「171 伝言ダイヤル」が有効です。